

京都市市民参加推進フォーラム みやこ協働通信



「京都市市民参加推進フォーラム」は、京都市の市民参加の推進を図ることを目的に、市への助言や提案を行いながら、市民と行政とのパートナーシップを更に進めるために設置された審議会です。

読んで
面白い提案書って
どんなん？

京都市市民参加推進フォーラムからの提案

「市民参加こんなんえーやん宣言！」 を発表しました！

京都市市民参加推進フォーラムでは、平成17年度の一年間を通じて、「京都市市民参加推進計画（平成13年12月策定）」の取組状況等を調査・研究し、今後の市政への提案につなげていくための活動を行ってきましたが、この度、「市民参加こんなんえーやん宣言！～京都市市民参加推進フォーラムからの提案～」を取りまとめ、平成18年3月29日に京都市へ提出しました。今回は、この「読んで面白い提案書」を詳しくご紹介します。

市民参加 こんなんえーやん宣言！

～京都市市民参加推進フォーラムからの提案～



平成18年3月29日
京都市市民参加推進フォーラム



平成17年度市民参加推進フォーラムの取組



詳しくは次頁をご覧ください！ ➡

「市民参加こんなんえーやん宣言！」

「市民参加こんなんえーやん宣言！」は「市民の皆さんに共感してもらえる内容に！」という思いから、平成17年8月に開催した「市民参加円卓会議」などでいただいた、市民の皆さんからの御意見や、フォーラム委員が議論のなかで発言されたコメントを積み重ねていくことでストーリーを構成し、身近で共感しやすい内容となっています。また、「読んで面白い、分かりやすいものに！」という観点から、4コマ漫画や委員の似顔絵・イラストなどを数多く用いています。

このように、フォーラム委員自らが主体的に意見交換を重ね、一から作成作業に当たったことにより、これまでの審議会が作成してきた提案書とはひと味もふた味も違った「読んで面白い提案書」となっています。提案書には行政への提案だけでなく、市民の皆さんに向けてのメッセージも掲載していますので、ぜひご覧ください！

こんなことが書かれています！

第0章 市民参加推進フォーラムからのメッセージ

第1章 市民参加推進フォーラムとは

第2章 これまでの取組状況について

第3章 こんなことを話してきました！

～京都市の市民参加について思うこと～

論点1

審議会と市民公募委員の関係に見る
市政参加の仕組み

審議会に参画する市民公募委員の率直な意見や感想から、京都市が進めてきた市政参加の仕組みの一つである市民公募委員の参画の現状と課題について話し合いました。

論点2

志線組織（活動）と地線組織（活動）との
連携について

「志によって結ばれたグループによるテーマ性の高い活動」と「地域を核とした人のつながり、ネットワークにより行う活動」の現状を分析し、両者がつながるために必要なことについて話し合いました。

論点3

伝え、知り、分かり合うことの大切さ
その1（市民と市民の関係）

市民同士がコミュニケーションを図り、理解し合うことの重要性について話し合いました。

論点4

伝え、知り、分かり合うことの大切さ
その2（行政の情報提供・収集）

市民参加の前提となる市政情報の発信と市民の意向の把握をより効果的に行うために必要なことについて話し合いました。

論点5

伝え、知り、分かり合うことの大切さ
その3（市民と行政の関係）

市民参加を進めていくうえで、「市民が行政に期待する役割」とはどのようなものかについて話し合いました。

第4章 市民参加こんなんえーやん！

～京都市に対する提案と市民の皆さんへのメッセージ～

■京都市に対する市民参加推進に係るあり方・方向性の提案

提案その1

形だけではない実効性のある制度に！

提案その2

更なる市民参加意識の普及と呼びかけを！

提案その3

コミュニケーションを創り、深められる場や機会の創出を！

提案その4

市民の目線、動線に沿った情報提供・共有を！

提案その5

市民の声が的確に把握できる制度の構築を！

提案その6

行政が市民活動のサポーターに！

提案その7

職員・組織の実効性のある連携を！

■市民の皆さんへのメッセージ

こんなことできるのかな？
…すでに始まっている新しい動きに学ぼう！

市民参加社会を創るために自らも変わる努力を。参加する市民になろう！

市民参加推進フォーラムの今後の展望と課題

は、こんな提案書です!



ポイント1

具体的なエピソードを4コマ漫画でコミカルに紹介し、市民参加を進めるうえでの論点をわかりやすく問題提起しています。「あるある!」と思われる方もいらっしゃるのでは?

例えばこんな感じ…。

論点3 伝え、知り、分かり合うことの大切さ その1 市民と市民の関係

STEP 1 問題提起 エピソード「まちかどでのお話」



論点2でも議論されたように、市民参加を進めていくうえでは市民同士がコミュニケーションを図り、理解し合うことはとても重要なことです。しかし、身近な地域の中で行われる活動を見ても、地域社会の構成員である市民の皆さんは一人ひとり多様です。まして、京都市全体、あるいは京都に関係する人々も含む広い意味での「市民社会」では、より多様な皆さんが活動しています。年代も職業も、あらゆることが異なる人たちがお互いに深く理解しあうことは困難なことだと考えられますが、それでも理解し合うための努力が必要です。

ちょっと聞いてよ! ~フォーラムに届けられた市民の声~

顔の見えない地縁組織

私は大学生で下宿を借りて住んでいるんですけども、その下宿のアパートが、町内会や町会費の徴収などを大家さんの方で止めているので、地縁組織の関わりというものは一切ないですね。家に誰かが訪ねてくることもないですし、だから自分からなにかしようと思わない限りは、変化がないですね。実家に帰った時には町内の掲示板とかも見ますが、このような状態では、地域への参加の意識もあがらないのではないかなという気はしています。【円卓会議参加者】

自分の意見ばかり述べても…。

数日一人ひとりが自己の意見を述べるばかりで、議論・対論になりにくい状況になりがちです。一方、審議会を取り仕切る申出は、権力全員の意見を引き出す努力をする余力、まともに苦み分けられる結果となり、お気の毒に思います。【市民公募委員アンケートより】

私はこう思う! ~議論の現場から~

接点が見当たらない…

志願型の活動をしていて地縁組織と関わりたいと思っている団体は結構あると思います。ただ京都以外の出身の方もすごく多くて、地域に縁がない人が多いです。初期の活動の段階では自分の団体の中で完結するような活動が中心ですが、事業を一步外に進めるときに様々な壁にぶち当たります。具体的にどこに相談して、どのように接点をもったらいのかということが分からないんです。【鈴木さん・第6回市民活動部会より】

ポイント2

「市民参加円卓会議」や「市民応募委員アンケート」などでいただいた市民の皆さんのご意見を臨場感のある「話し言葉」のまま掲載しています。これぞまさに「生の声」です!

ポイント3

フォーラムでの様々な会議の場で議論された内容を、委員コメントとして掲載しています。各委員のコメントを読み比べてみると、活発に意見交換がなされていることがよくわかりますよ!

「市民参加こんなんえーやん宣言!」はプロジェクト推進室、各区役所・支所のまちづくり推進課、市民活動総合センター、景観・まちづくりセンターなどで配布しています。また、プロジェクト推進室のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

アドレス <http://www.city.kyoto.jp/sogo/project/siminsanka/partner.html>

第3期フォーラムがスタートします!



平成18年4月から第3期フォーラムの活動がスタートしました。そこで、新たに委員として就任していただいた4名の市民公募委員の皆さんに「委員就任に当たっての抱負」を伺いました。

新しい市民公募委員の皆さん



上村 憲子 委員

無関心でいられない私は、すぐ声を上げてしまい、色々なことに頭を突っ込んでしまいます。いつしか参加することによって、皆からエネルギーをもらった私は、楽しみの活力に変えてしまいます。大好きな京都ならではの、オンリーワンを目標に、もっともっと元気に前進できるには、皆が望むことから実行あるのみです。小さな火種を起す協力ができたら、多くの人がかっこよく燃えてくれることを願っています。



西村 公佐 委員

毎日の生活の中で地域における人と人とのつながりの大切さを改めて感じております。これまで団塊の世代と呼ばれながら、企業一筋にやってきた経験を生かして、フォーラム等の勉強会で諸先輩方から教わりながら、市政と地域の間での「市民参加」のしくみづくりに何らかのお役に立てればと思っています。できることをできるときにやっけていこうと思っておりますので、よろしくお願ひします。



林 秀光 委員

今回、市民公募委員として参加させていただくことになりました。林です。京都で生まれ育ち、自称京都好きです。

現在 京都では若者が中心となって進めている取組やイベントが沢山行われています。そういった動きをもっと活発にしていけるようなお手伝いができたらと思っています。これまで、何かを考えて意見を述べるといことをあまりしてきたことがなく、とまどいもありますが、精一杯頑張りたいと思います。



安本美佐子 委員

世界の歴史都市・京都が未来を指向して「市民参加型の行政・まちづくり」を推進。その趣旨に賛同して応募しました。勉強会で力をつけフォーラムで提言することが、この2年間の私の市民参加です。チャレンジャーとして多くを学ぶとともに、一市民の感性を伝えたいと願っています。

京都市からの「市民参加推進レポート」 お知らせ を配布中!

京都市の市民参加の取組状況を、写真やデータなどを用いて分かりやすく紹介した冊子を、市役所、各区役所・支所、図書館等で配布中です。

このレポートは、15年度から隔年で発行しているもので、今回は16年度、17年度の取組を中心に掲載しています。プロジェクト推進室のホームページでも紹介していますので、提案書と合わせてご覧ください。



事務局からの お知らせ

京都市市民参加推進フォーラムの活動内容や会議の摘録をプロジェクト推進室のホームページで公開しています。是非一度ご覧ください。

アドレス：<http://www.city.kyoto.jp/sogo/project/siminsanka/partner.html>

市民参加推進フォーラムは皆さんの声を活かして行きます。ご意見は事務局までお寄せください。

市民参加推進フォーラムニュースレター「みやこ協働通信」 第6号 / 平成18年5月29日発行

事務局:〒604-8571 (住所記載不要)

京都市総合企画局プロジェクト推進室

電話 075-222-3178 FAX 075-213-0443

Eメール partner@city.kyoto.jp ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/sogo/project/>